

校長室通信



令和8年2月3日
羽咋市立羽咋中学校
校長 宮下 裕樹
第10号

大人への階段を着実に上るために…

1月が慌ただしく過ぎていきました。令和7年度の残りの2か月も、生徒たちを育む大切な機会と捉え、充実した活動となるよう支援していきたいと考えています。先月末に人生の初の試練ともいべき私立高校の入学試験に、多くの3年生が挑みました。合言葉「受験（検）は団体戦」を胸に、もてる力を出し切ってくれたものと思います。試験会場で、問題用紙に臨むのは一人一人の生徒ですが、学校においては、仲間と共に頑張るという思いをもつことが何よりも大切です。これからの中学生（15歳）の時期、学級や3年全体をより一層よい雰囲気にすることで、個人の力を集団に、また、集団の力を個人に向けてほしいと願っています。

2年生には、「立志の集い」が予定されています。立志式は、主に中学校2年生（14歳・数え年15歳）が、将来の夢をもち、目標を立て、大人になる決意を表明する式です。古くからの「元服」にならい、自律心や将来への指針を持つ、いわゆる「志」を立てる目的で実施されます。2年生には、しっかりと自分に向き合い、自分を見つめる機会としてほしいと思います。

1年生は「青春トーク」が予定されていて、本校出身の先輩の方々によるパネルディスカッションを聞く機会があります。本校を卒業した先輩たちのことを身近に感じながらも、社会人として働く大人としての責任感や心構えを聞き、数年先の自分の姿をイメージしながら、自らの成長につながるヒントしてくれるものと思います。

今年度の合唱コンクールで、3年2組が歌った自由曲『手紙～拝啓十五の君へ』は、アンジェラ・アキさん自身が15歳の時に書いた自分宛の手紙と、30歳の誕生日に母親からその手紙が届けられたというエピソードをもとに作られたそうです。「今を生きる中学生（15歳）の悩み」と「大人になった自分」の手紙の対話を通じて、未来への希望や「Keep on believing（信じ続けること）」の大切さを歌い、多くの人から共感を得ています。「荒れた青春の海は厳しいけれど 明日の岸辺へと夢の舟よ進め」と「大人の僕も傷ついて眠れない夜はあるけど苦くて甘い」と歌詞どおり、どの生徒も一步一歩着実に大人への階段を上り、成長を遂げてほしいと願っています。これからも生徒たちを応援しながら、見守っていきたいと思います。

◇栄光の足跡

○校内書初めコンクール

金賞	出村 陽斗	盛田 那心	酒井 紅羽	本吉 智子
	岩井 心望	盛田 彩心	杉村 結那	
銀賞	日下 愛	松浦 綾音	道下 りの	本吉 緋奈
	本多 愛奈	徳島 優菜	嶋田 裕太	
銅賞	片桐 颯大	岩谷 亮良	岡田 彩希	松田 奈子



○北陸三県中学生弓道錬成大会

1年男子個人の部 1位 橋本 京典

学校内外の行事から

☆Global Gateway (1/20)

市内の外国語指導助手の先生方をお招きし、1年生と楽しい英語活動を行っていただきました。例年、楽しく英語を学ぶことをねらいとして、参加した1年生には好評な行事となっています。ALTの西浦さん、キンサーさん、トモスさん、マシューさんの4人が考案し、準備してくださったクイズゲームやすごろくなど楽しいゲームなどに参加した1年生たちは、仲間と英語でコミュニケーションを図りながら意欲的に活動でき、有意義な時間となっていました。



☆先輩と語る会 (1/20)

1年生の代表が、出身小学校4校に出向き、6年生と交流をしました。例年この時期に、4月から本校に入学してくる6年生に対して、中学校の学習や部活動などの学校生活について説明したり、質問に答えたりしながら交流を行いました。各小学校担当の生徒たちは、分かりやすくまとめたプレゼンを準備し、丁寧に説明をしていました。6年生も先輩たちの話をしっかりと聞き、質問してくれたようです。



☆出前授業 (1/23)

羽咋工業高校の先生に出前授業を実施していただきました。希望別に5グループに分かれた2年生全員は、講義や実際に実習を行うなど体験入学ながらの授業に参加しました。次年度は3年生となって、進路選択をしていかなければならない2年生にとっては、貴重な経験になったものと思います。授業では、①マイクロビットによるコンピュータ制御、②電気配線工事、③建築パースの作図、④水準測量、⑤デザインの基礎の授業が開設され、その授業に生徒たちは意欲的に参加することができました。



☆English Career (1/29)

NPO法人YOU-Iの協力を得て、今年は5人の外国人講師の先生をお招きして交流会を実施しました。各学級2時間の設定で、英語でやり取りすることやそれぞれの職業について理解を深めることが目的です。飛行機の機内・入国審査・観光・買い物・レストランの5つの場面を設定し、その場に応じた自然な会話を用いて楽しい交流ができました。本校生徒の意欲的な姿を見た講師の先生方からも、大変楽しかったという感想をいただきました。



第3回学校関係者評価委員会を終えて

1月15日、学校評議員の方々に、今年度の本校の教育活動について評価していただきました。概ね良好な評価をいただきましたが、全13項目中、次の3項目については、手立てを講じる必要があるとのご意見をいただきました。

- 児童・生徒は、集団生活に必要なきまりや約束を守っているか。
- 教職員は保護者や地域の方と連携しているか。
- 学校は、地域の人材、施設、歴史、自然などを教育活動に活用しているか。

今後も保護者・生徒からのアンケートから見えてきた課題については改善を目指して努力していきます。なお、今年度後期の保護者アンケート・生徒アンケート結果については、ホームページに掲載しますのでご覧ください。

編集後記

若い頃、世の中の人たちから「新人類」と呼ばれたことを覚えています。一般的に1960年代に生まれ、高度経済成長期に育ち、バブル期に若者であった私たちの世代です。現在は、「Z世代」が若者を指す言葉として知られています▼本校の生徒たちが10年後、20年後に「○○世代」と呼ばれることがあるのではないかでしょうか。当世の若者たちと価値観を共有しづらくなっていることを日々感じています。ましてや、中学生が大人になった時にはどうなるのでしょうか…▼「子供は未来からの留学生」という言葉があります。未来を生きる彼らから学び、一人の人間として人格を尊重し、可能性を信じ、彼らの時代(未来)へ戻った時に困らないよう、サポートをするという深いメッセージが込められています。私が生徒たちに関わるときの道標の言葉です。(宮下)